

行政事業レビューシート (厚生労働省)						
予算事業名	健康危機管理体制整備推進費		事業開始年度	平成5年度	作成責任者	
担当部局庁	健康局		担当課室	総務課地域保健室	大橋 正芳	
会計区分	一般会計		上位政策	-		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	多様化する健康危機事例に対応するため、危機管理に関する研修の実施など、地域における健康危機管理対策の基盤を整備することで、国民のニーズに対応した地域保健活動を強化し、安心して健康的な国民生活の確保を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> 多様化する健康危機事例に的確に対応するため、保健所長及び保健所の管理職員等を対象として、実際の健康危機事例発生時の対応に関する演習、必要な知識等の取得を内容とした研修を実施する。 都道府県職員等を対象として新型インフルエンザ対策に特化した研修を実施する。 					
実施状況	<p>平成21年度の実施状況は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康危機管理保健所長等研修事業は、実務編と高度技術編で成り立っており、実務編は9月、12月、2月の年3回、高度技術編は7月の年1回実施した。 新型インフルエンザ対策疫学特別研修事業は、8月と9月の年2回開催した。 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	7	7	8	5	4
	執行額	7	6	6		
	執行率	100	85.7	75		
	総事業費(執行ベース)	7	6	6		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> 健康危機管理保健所長等研修事業は、国立保健医療科学院にて研修に必要な教材作成費等に使用したところである。 新型インフルエンザ対策疫学特別研修事業は、国立感染症研究所にて研修会運営費等に使用したところである。 				
	見直しの余地	新型インフルエンザ対策疫学特別研修事業については、平成20年度からの2年間の事業として実施したものであり、平成21年度をもって終了したところである。そのため、平成22年度においては、当該予算を削減したところである。				
予算・監視の効率化	健康危機管理体制整備推進費については、事業の必要性があり、過去の執行額の推移と比較して予算規模も概ね妥当であることから、効率化は困難であるが、引き続き適切な執行に努めること。					
補記						

健康危機管理保健所長等研修事業

厚生労働省
2.1百万円

健康危機管理保健所長等
研修事業に係る執行の管理

A 国立保健医療科学院
2.1百万円

健康危機管理保健所長等
研修の実施

【随意契約】

民間企業 1.8百万円
(内訳)2者
1. 株式会社アトミ 0.9百万円
2. 株式会社ウェブプロデュース 0.9百万円

健康危機管理保健所長等
研修に係る教材作成等

新型インフルエンザ対策疫学特別研修事業

厚生労働省
1.3百万円

新型インフルエンザ対策疫学特別研
修事業に係る執行の管理

B 国立感染症研究所
1.3百万円

新型インフルエンザ対策疫学特別
研修の実施

【随意契約】

C 民間企業 1百万円
(内訳)1者
1. 株式会社グラムスリー 1百万円

新型インフルエンザ対策疫学
特別研修の運営

うち事務費 2.6百万円

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)

A.国立保健医療科学院			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費等	・教材DVD作成費 ・e-Learning教材用DVD、パンフレット作成及び発送代等	2.1			
計		2.1	計		0
B.国立感染症研究所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費等	研修会運営費等	1.3			
計		1.3	計		0
C.株式会社グラムスリー			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
運営事業費	研修会運営業務	1			
計		1	計		0
D			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0